

生物多様性保全への取組み(3)

■ 生態系とは何ですか？都会でも生物多様性は大切ですか？(Q)

生物と大気、水、土壌など、環境のまとまりである森林や河川、海洋のことです。都市にも生物多様性はありますよ。

都会には人は多いし、24時間音や光にあふれ、地表はコンクリートやアスファルトに覆われているところが多いので、人間以外のいきものはとても棲みやすい環境には思えないかも知れません。しかし、都市にも公園等の緑地があり、いろいろないきものが棲んでいます。スズメのように都市部を含めて以前から人の身近に暮らしているいきものもいますし、東京の都心部にもアオダイショウなどのヘビも昔から生息していますし、最近もタヌキが東京の都心部に生息しているとの情報を耳にすることがあります。

都会の中でも出来る工夫として、都市公園や街路樹だけでなく、一般家庭の庭なども含めて緑地をもっと増やしていくこと、河川においても護岸に、いきものが隠れたり出来るような「すきま」のあるコンクリートパネルやブロックを使うこと、海岸では既存の干潟を守るほか、場合によっては人工の干潟を造成したりすることで生物多様性が確保されるよう努めていくことが望めます。

■ では、私たちが生物多様性を守るには何をしたらよいのですか(Q)

日々の暮らしでもいろいろなことが出来ます。

例えば日本で営まれているような大量生産、大量消費の暮らしは生物多様性に大きな影響を与えています。そして、私たちが生物資源から受けている恵みと、与えている影響は日本国内にとどまらず世界中に広く及んでいるのです。その影響を少なくするために、企業はその事業活動において生物多様性に配慮することが望めますし、私たち消費者は日々の暮らしの中でのなるべく生物多様性に配慮した商品やサービスを選択することが望まれています。

私たちにできることの参考として「国民の行動リスト」を次号(第88号)に掲載します。

— 出典：生物多様性100問 —

——— 当社は森林保護のため裏紙を使用しています。 ———